

みずほCustomer Desk Report 2020/01/09 号(As of 2020/01/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.85
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	108.00	1.1154	120.47	1.3112	0.6860
SYD-NY High	109.25	1.1168	121.37	1.3169	0.6885
SYD-NY Low	107.65	1.1102	120.17	1.3081	0.6849
NY 5:00 PM	109.14	1.1103	121.23	1.3095	0.6867
NY DOW	28,745.09	161.41	日本2年債	-0.130	▲1.00bp
NASDAQ	9,129.24	60.66	日本10年債	-0.020	0.00bp
S&P	3,253.05	15.87	米国2年債	1.5836	4.62bp
日経平均	23,204.76	▲ 370.96	米国5年債	1.6637	6.04bp
TOPIX	1,701.40	▲ 23.65	米国10年債	1.8729	6.30bp
シカゴ日経先物	23,540.00	165.00	独10年債	-0.2450	4.05bp
ロンドンFT	7,574.93	1.08	英10年債	0.8190	2.90bp
DAX	13,320.18	93.35	豪10年債	1.1780	▲3.80bp
ハンセン指数	28,087.92	▲ 234.14	USDJPY 1M Vol	5.04	▲0.02%
上海総合	3,066.89	▲ 37.91	USDJPY 3M Vol	5.35	0.05%
NY金	1,560.20	▲ 14.10	USDJPY 6M Vol	5.69	▲0.01%
WTI	59.61	▲ 3.09	USDJPY 1M 25RR	-1.05	Yen Call Over
CRB指数	183.38	▲ 3.55	EURJPY 3M Vol	5.69	▲0.09%
ドルインデックス	97.30	0.29	EURJPY 6M Vol	6.07	▲0.05%

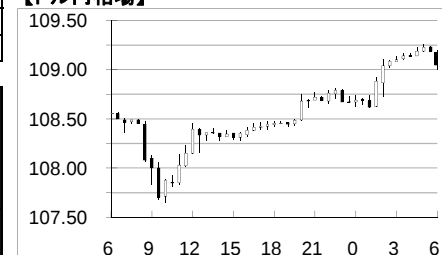
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月8日	16:00	独 製造業受注(前月比)	11月 -1.3%	0.2%
	19:00	欧 消費者信頼感・確報	12月 -8.1	-
	22:15	米 ADP雇用統計	12月 202k	160K

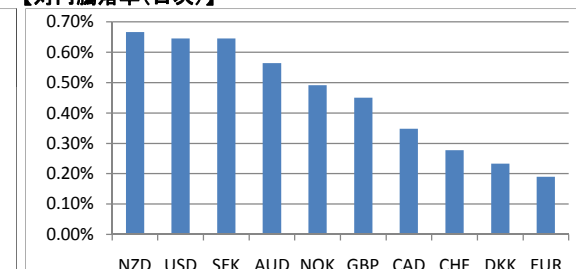
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月9日	09:30	豪 貿易収支	11月 A\$4100m	A\$4502m
	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	12月 4.7%/-0.4%	4.5%/-1.4%
	16:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	11月 0.8%/-3.7%	-1.7%/-5.3%
	18:30	英 カーニー・BOE総裁 講演	-	-
	22:00	米 クラリダFRB副議長 講演	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	4-Jan 220k	222k
	23:30	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
1月10日	01:30	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
	03:20	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	04:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 中東リスク一旦後退か

アメリカがイラン革命防衛隊のソレイマニ司令官を殺害したことにより中東の地政学的リスクが目下のマーケット材料となっている。昨日はイランが報復措置としてイラクの米軍施設をミサイルにより攻撃というヘッドラインによりドル円は円高が進行し107.65と昨年10月以来約3ヶ月ぶりの水準をつけた。時間外取引の米10年国債利回りは約10bp低下。108円アンダーのストップロスを巻き込み、円が買われるという典型的なリスクオフの反応となり日経平均も寄り付きから大幅に下落する展開となった。為替相場はその後ドル円、クロス円も東京時間で下げ幅をほぼ回復する水準まで上昇しており、昨日のドル円は、安値107.65、高値109.25と1円60銭の値幅で推移。米中の制裁/報復関税の応酬が波乱要因となった2019年8月26日以来の大きさを記録した。昨日はヘッドラインこそ円高で反応したものの、イランと米国の関係悪化も米中通商問題に比べれば世界経済全体に与える影響は大きいとは言えず、また経験則としても中東情勢の悪化によるリスクオフの展開は長期化せず、影響は一時的となるケースとなることが多い。今回も昨日東京時間のうち「行ってこい」となり、海外時間にはトランプ米大統領がイランへの更なる軍事的力の行使をしない方針を示すと109.20円台までドル円は上昇している。本日以降も不透明感は完全に払しょくはされず、ヘッドライン次第では円高方向で反応する可能性はあるが、持続性はなく一過性だと思われ、その際には押し目買いを推奨したい。(大谷)

東京	東京時間は108.00レベルでオープン。米軍が駐留するイラクの空軍基地に、イランがミサイルを発射したことで中東リスクが高まりドル円は107.65レベルまで下落した。その後大幅下落していた日経株の反発を横目に、108円台に値を戻し、108.45レベルまで上昇。結局108.35レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.35レベルでオープン。アジア時間を引き継ぎ、ドル買い・円売りが優勢。正午前に、攻撃される前にイラク政府がイランから予告を受けていたが明らかになり、ミサイル発射の目的は緊張緩和にあるとの思惑が広がった。よって、リスクセンチメントが更に改善し、ドル円は一時108.79レベルまで上昇し、108.76レベルでNY渡った。ポンドドルは、1.3132レベルでオープン。午後に控えるEU新欧州委員長との会議で、ジョンソン英首相氏が、12月末となっているEU離脱後の移行期間を延長しない方針を強調することが強く予想されているなか、今後の交渉が難航する懸念からポンド売りが先行した。1.3093レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	海外時間のドル円は、米軍が駐留するイラク空軍基地へのイランによるミサイル発射との報道を受けてリスクオフの円買いが強まると、107.65レベルまで下落するも、イラン高官による戦争は求めているとの発言等を受けた安心感から反発し、108.76レベルでNYオープン。朝方、米12月ADP雇用統計は予想を上回り、直近8ヶ月で最大の伸びとなったが、11時から予定されていたトランプ米大統領の記者会見を前にレンジ推移。トランプ大統領がイランへの追加制裁発動を表明しつつも、「米国人の負傷者はなく、イランが行動を抑制している」旨を述べ、軍事的な反撃に言及しなかったことから、地政学リスクの一時後退にドルが買い戻され、109円を上げて109.25レベルまで上昇。その後はハグダッドで爆発があったとの報に109円近辺まで下落するも、死傷者なしと伝わるこの水準で下げ渋り。結局、109.14レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.1118レベルでNYオープン。午前中、1.1120近辺での揉み合いが続いた後、トランプ大統領の記者会見を受けて強まったドル買いを背景にじり安の展開となる。午後もしじりりと1.1102レベルまで安値を更新し、1.1103レベルでNYクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大谷・松本 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア

ブル	ベア
10	10